

1. 事業の基となる施策

○第六次福井市総合計画

基本目標 みんなが快適に暮らすまち

政策 安全でおいしい水を安定供給するまちをつくる

施策 水道水を安全・安定的に供給する

○福井市水道ビジョン（平成22年3月）

基本理念 信頼に応える水づくり ～いつまでも暮らしにうるおいを～

基本目標、施策

・いつでもおいしい水づくり …… おいしい水の供給

・災害に強い水づくり …… 危機管理の強化・充実

2. 事業の目的

水道水の安全性とおいしさについて市民の再認識を促すとともに、市民への防災意識の啓発を図る。

3. 市が行う必要性

市販のペットボトル水の普及に伴い、市民の水道水離れが進んでいることから、市が水道水の安全性とおいしさを市民にアピールすることで、「蛇口から直接おいしい水が飲めるまち」であることの再認識を市民に促すことができるため。

4. 事業の概要（平成25年度）

①ペットボトル水の製造・販売

・「おいしいふくいの水」ペットボトル（500ml：120円/本、2ℓ：250円/本）を製造・販売。

・平成23年8月の「おいしいふくいの水」水質異常事件発生後から、製造・販売を中止。

・水質異常事件の教訓を踏まえ、ペットボトル水の今後の方向性についての調査・検討。

（経緯）H19.1～ 「おいしいふくいの水」ペットボトルの製造・販売を開始

H23.8 水質異常事件の発生

「おいしいふくいの水」ペットボトルの製造・販売を中止

H24.1～ ペットボトル水の安全性確保の調査・研究を開始

H24.6 「おいしいふくいの水」損害賠償請求訴訟を提起

H25.11 ペットボトル水の今後の方向性について議会・報道機関に中間報告

②「災害用備蓄水」アルミボトル・防災セット「もしも！リュック BOX」の製造・販売

・「災害用備蓄水」（490ml：150円/本）と「もしも！リュック BOX」（災害用備蓄水6本と非常用水袋のセット：1,500円/箱）を製造・販売。

・福井市総合防災訓練で「もしも！リュック BOX」ブース出展と「災害用備蓄水」を無料配布。

（経緯）H20.11～ 「災害用備蓄水」と「もしも！リュック BOX」の製造・販売を開始

③水道水のドライミスト設置

・水道水の多種多様にわたる利便性をPRするため、企業局アンテナショップ「G・Cook」前に毎年7月から9月までドライミストを設置し、来館者に清涼感を提供。

（経緯）H20.7～H22.9 福井駅西口にドライミストを設置

H22.7～ 「G・Cook」前にドライミストを設置

(1)事業期間

①ペットボトル水の製造・販売

平成19年 1月 ～ 平成23年8月（中止）

ペットボトル水の調査・検討

平成24年 1月 ～ 平成26年5月

②「災害用備蓄水」等の製造・販売

平成20年11月 ～ 在庫がなくなり次第、終了

③水道水のドライミスト設置

平成20年 7月 ～ 終了予定年度は設定していない

(2)実施主体

事業	実施主体	委託・支援先	備考
①ペットボトル水の製造・販売	福井市	(株)ティーツウー (平成23年度まで)	製造業務委託
②「災害用備蓄水」等の製造・販売	福井市	大円食品工業(株)	製造業務委託
③水道水のドライミスト設置	福井市	(株)レンタルのニッケン	設置業務委託

※いずれの事業についても製造本数や販売、支援方法等の事業計画は市が主体となって決定。

(3)事業の対象、または事業区域

不特定多数の市民、市外や県外からの来訪者

(4)事業実施手法

①ペットボトル水

- ・ペットボトル水の今後の方向性についての調査・検討

「おいしいふくいの水」水質異常事件の教訓を踏まえ、製造業務委託に関する商品の安全性確保や水道事業体の状況を調査・研究し、ペットボトル水の今後の方向性を検討。

- ・ペットボトル水の今後の方向性について決定・中間報告(平成25年11月)

調査・研究結果から、地下水を原材料とした「おいしいふくいの水」の販売は、安全性を考慮して設けた製造業者選定条件を満たす事業者が見出せなかったため、販売再開を断念。

安全性や品質を考慮し、水道水を原材料としたペットボトル水を製造する場合の製造業者選定条件(ISO22000認証取得の事業者など)を再度設定し、水道水のPRに加え、福井市のPRに水道水ペットボトルを活用できないか引き続き調査・検討することとした。

- ・水道水ペットボトルの製造業者(2社)視察(平成26年1月)

②「災害用備蓄水」アルミボトル・防災セット「もしも!リュックBOX」

- ・ガスセンターショールーム等で「災害用備蓄水」と「もしも!リュックBOX」の販売(常時)。
- ・福井市総合防災訓練のメイン会場(上文殊小学校)や福井市水道展(アオッサ)で「もしも!リュックBOX」紹介ブースの出展・販売、「災害用備蓄水」を1,200本無料配布。

③水道水のドライミスト設置(平成25年7月~9月)

水道水を微小な霧状に噴霧する「ドライ型ミストユニット」を企業局アンテナショップ「G・C o k」前に50日間設置。

(5)担当職員数

<担当職員数> 2人 ※他の業務と兼務

<業務内容> ・ペットボトル水の製造業者の調査・検討(4月~3月)
 ・災害用備蓄水等の販売・代金領収の事務手続き(4月~3月)
 ・ドライミスト設置業務委託の契約手続き(6月~9月)

(6)実施費用 ※単位:千円、決算額は千円未満切上げ、なお、25年度の決算額については見込額

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
決算額	13,935	10,215	27,675	2,767	589

25年度決算見込額内訳	決算見込額
ペットボトル製造業者視察旅費	129
消耗品(食品安全関連書籍等)	13
ドライミスト設置業務委託料	447
合計	589

<委託業務内容> ・ドライミスト設置業務委託(機器の設営、撤去及び保守管理)

(7)事業実績

	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度
①ペットボトル水販売量 (無料配布を含む)	71,135 本	95,494 本	41,222 本	—	—
②災害用備蓄水販売量 (無料配布を含む)	6,137 本	19,876 本	2,745 本	2,496 本	2,479 本
③G・C o o k 来館者数 (ドライミスト設置期間)	—	1,450 人	2,790 人	1,600 人	2,260 人

5. 所属による事業評価

<事業目標（平成25年度）>

- ・災害用備蓄水を通じて、市民への防災意識の啓発に努める。
- ・ペットボトル水の今後の方向性について調査・検討を行う。

<目標達成状況>

- ④遅延又は効果不十分（数値目標なし）

<評価理由>

- ・「おいしいふくいの水」の水質異常事故の影響により、災害用備蓄水の販売は低調であった。
- ・ペットボトル水について調査・検討した結果、今後の方向性が決定した。

6. 平成26年度以降の事業の進め方

(1)平成26年度前半（7月末まで）の事業実績

①ペットボトル水

- ・「おいしいふくいの水」損害賠償請求訴訟の和解成立（平成26年4月）
- ・水道水ペットボトルの製造業者の選定（平成26年5月）
水道水を原材料としたペットボトル水を製造する業者について、安全性を考慮し、市が設定した選定条件を全て満たした業者を選定。
（製造工場）サカイキャニング㈱ 高野山麓かつらぎ工場（和歌山県伊都郡かつらぎ町）
- ・「ふくいおもてな水（すい）」ペットボトル（350ml）の製造（平成26年6月）
「ふくいおもてな水」のラベルは、市の観光PRのため、おもてなし観光推進室がデザインし、福井市宣伝隊長「朝倉ゆめまる」や福井国体のロゴを配した。
- ・「ふくいおもてな水」ペットボトルの取扱い開始（平成26年7月）
市民に水道水のおいしさや郷土の観光資源を広くPRするため、ガスセンターショールームにて「ふくいおもてな水」を有償で頒布する。
（税込価格）1ケース2,400円（1本当たり100円）
※1ケース（24本入り）単位での取り扱い

②「災害用備蓄水」アルミボトル・防災セット「もしも！リュック BOX」

- ・「災害用備蓄水」と防災セット「もしも！リュック BOX」の販売
- ・福井市総合防災訓練のメイン会場（防災センター）で「もしも！リュック BOX」紹介ブースの出展と「災害用備蓄水」を1,100本無料配布（平成26年6月）。

③水道水のドライミスト設置（平成26年7月～9月）

水道水を微小な霧状に噴霧する「ドライ型ミストユニット」を企業局アンテナショップ「G・C o o k」前に50日間設置。

(2)平成26年度後半（8月以降）の事業の進め方

- ・「ふくいおもてな水」 ペットボトルを観光PRに活用（おもてなし観光推進室へ販売）
県外での出向宣伝やコンベンション誘致活動などで、おいしい水を活かした食や美しい景観をPRするとともに、「朝倉ゆめまる」の認知度向上のためのノベルティーとして活用する。
- ・「ふくいおもてな水」の平成27年度製造本数の計画策定
出荷先への入念な需要調査を実施し、販売実績や在庫本数を踏まえた上で、適正な製造本数を決定する。

(3)平成27年度以降の方向性及び理由

<今後の方向性> 「維持」

<理由>

平成30年度の福井国体を見据え、当面は福井市の観光PRとして、県外での出向宣伝や県外向けの全国規模のコンベンション誘致に「ふくいおもてな水」を活用する。また、市民にも水道水のおいしさや郷土の観光資源を広くPRするため、有償で頒布していく。

「災害用備蓄水」と「もしも！リュックBOX」については、今後製造は行わず、在庫がなくなり次第、販売を終了する。

7. 関連事業

(1)市の事業で関連する事業

○非常用貯水装置整備事業（危機管理室）

災害時における市民の飲料水確保を目的に各地区の避難所に非常用貯水装置を設置している。また、非常用貯水装置未設置地区には、飲料水としてペットボトル水（2ℓ）を備蓄している。

(2)県や国、民間で関連する事業

○備蓄用のペットボトル水の販売（民間）

ドラッグストア等の小売店において、備蓄用のペットボトル水（2ℓ）が格安で販売されている。

○ドライミストの設置（民間）

「ラブリーパートナーLpa」や順化1丁目の飲食店、「ぺんたワイワイ夏まつり」イベント会場などで、ドライミストが設置されている。

8. ホームページの検索

検索キーワード：「福井市 ふくいおもてな水」

URL：<http://www.city.fukui.lg.jp/kurasi/suidogas/sproject/omotenasui.html>